

民児協の課題と対応は

円滑な活動に対する

支援の方策を検討



川 島 富士子 議員

Q 活動のしくみは

A 民児協（民生委員児童委員協議会）は、町村ごとに設置することが、

民生委員法に規定されています。また、厚生労働大臣から委嘱され、現在当町には54名の民生委員児童委員があり、このうち3名は主任児童委員です。民児協は月1回の定例会を開催し、事例検討や制度研修等を行い、地域において要援助者の見守りや相談支援、ひとり親家庭や児童の見守り活動など、地域福祉を推進する重要な役割を担っております。

Q 現状の課題と対応は

A 当町では、現在欠員は生じておりませんが、委員の選任が困難にな

ってきていることが課題として挙げられます。今後、民生委員児童委員の円滑な活動に対する支援の方策について、近隣市町の支援状況等を参考としながら検討してまいります。

Q 大総小学校区における学童保育の設置を

A 町も、保護者の皆様のご事情は十分理解

しておりますが、実施場所や費用面など多くの検討課題があり、直ちに対応が難しいことから状況を注視し

慎重に検討し、子育て支援のサービス向上に努めてまいります。

Q 可燃ごみ集積所（ごみステーション）にお

ける環境美化推進事業補助金交付の創設を

A 可燃ごみ集積所の設置や、維持管理に係

る経費については、利用者で負担していただきたいと考えておりますが、近隣市町の状況を確認し、調査研究をしてまいります。

【進捗状況及び

今後の取り組みについて

Q 不二家横芝光IC店付近の信号機の右折信号

号は

A 早期に右折信号を設置いただけるよう要望してまいります。

Q 駅前交差点の右折ラ

A 千葉県山武土木事務所が平成36年度の完

成に向けて改良事業を進めており、計画では県道横芝上堺から横芝駅に向かって東側栗山川方向へ向かう右折レーンと駅前広場から出て西側千葉銀行方向に向かう右折レーンを設置する予定になっております。

Q 色川道路の旧セーブ

A 設置を

児童・生徒の通学の安全を確保するため、

継続的に現地調査を行い、その状況を踏まえて所轄の山武警察署に横断歩道設置について要望してまいります。

Q 屋形セブンイレブン

解除を

A 山武警察署に現地を確認いただき、安全

な規制方法で運用していただけるよう要望いたします。

Q 清長大橋から県道ま

A 今年6月末で用地買

収を完了し、残りの延長460mは道路改良工事を実施するのとなりました。しかしながら、事業の早期進捗を図るためには財源の確保が最大の課題となっており、今後とも財源の確保に努めてまいります。





宮 蘭 博 香 議員

町の活性化等の一役を担うため 野球場の整備を要望

財政状況等を考慮しながら 慎重に検討する

Q 当町は合併して
から12年目を迎
えています。公共施
設等の全体状況をいま
だに把握していません。
そこで、長期的な視点
で更新、統廃合、長寿
命化などを計画的に行
うことで財政負担を軽
減し、標準化すると
もに公共施設等の適切
な配置を実現すること
が必要です。それらを
踏まえ各施設の具体的
な内容を早急に示し、
対応する必要があります
と思いますが、町長の考
えについて、伺いま
す。

A

当町では、平成
32年度までに個
別施設計画を策定し、
対応することとしてい
ます。

Q

当町は「スポー
ツ健康都市宣
言」をしており、老若
男女の皆さんが色々な
分野で活躍しています。

A

将来的には、当野球
場の全体的な改修も
視野に入れて考えなけれ
ばなりません。当町には、
この他にもスポーツ施設が
数多くあり、殆どが老朽化
している問題を抱えている
ことから計画的に順次、修

そして、坂田池公園は近隣
にも誇れるものであり、各
種スポーツ施設も充実して
いますが、それぞれの施設
は23年が経過していること
から、今年度テニスコート
を全面改修します。次は、
スコアボードを含めた野
球場全体の改修を行い、町
民野球はもとより夏の高校
野球も誘致するなどアマ
チュア野球の大会会場とし
て使用させるなどし、町の
名称を県内外にPRすると
ともに大会開催時に合わせ、
特産品等の販売などイベン
トコーナーを開設すること
により、町の活性化や町お
こしの一役を担うことがで
きると思います。町長の
考えについて、伺います。

A

将来的には、当野球
場の全体的な改修も
視野に入れて考えなけれ
ばなりません。当町には、
この他にもスポーツ施設が
数多くあり、殆どが老朽化
している問題を抱えている
ことから計画的に順次、修

繕を行う必要があります。
そのため、今後の整備につ
いては、施設の状態や財政
状況等を考慮しながら、改
修内容、実施時期などを慎
重に検討していきます。

Q

少子化の中、いず
れスポーツ少年団
とも団員の減少傾向に伴い
厳しい運営状況にあります。
ルール改正等により臨時的

A

スポーツ少年団活動
は、「からの成長」につな
がるものであり、特殊事情
が生じる場合の対応につい
ては、検討していきます。

な経費が見込まれるなどの
特殊事情が生じた場合の助
成など、スポーツ少年団活
動への支援について、町長
にお伺いします。



成田空港騒音問題は

充分に意見を交わし
しっかりと対応する

秋鹿幹夫 議員

Q

今現状でも問題があるのに、機能強化が承認されれば、被害はもっと拡大する事が予想されま

いは防音工事の施工範囲が限定されているなど、防音対策が十分でないという

いて意見を交わすことは、非常に意義のあることであり、この期を利用して騒音

対策のより

深い検討がされるべき

であると考えます。現在、空港会

A

成田国際空港株式会社（NAA）は、昨

Q

騒音による健康被害調査の実施を

Q

騒音の健康被害は、海外の調査で因果関係が報告されている。睡眠障害がアルツハイマーを引き起こす原因になるという研究結果報告もあるので、町独自でも実施する考えはないか。

A

航空機騒音に対する感じ方には個人差があり、町としてはいわゆる騒防法をはじめとする規制度の中で、きめ細かな防音対策が行われてきたと一定の評価をしています。

「成田空港の更なる機能強化」と

一方、昨年から今年の春にかけて行われた住民説明会や集落説明会において、防音工事補助金の限度額が設定されている、ある



問題に関する各説明会において、現在の騒音対策について、現

りと対応していく、これは必然であって、あくまでも

問題についても、これは保

A

直近でNAAが行いました、騒音健康調査というもののが平成26年7月～9月になされております。この調査をみますと、大規模にしかも委員についても、学識経験豊富な方々を選んでおります。その様な調査がなされ公表されているという事で、町として現段階では調査を行う考えはありません。



森 川 忠 議員

第三滑走路問題の 説明会に町長は

今後は出席するようにする

Q 6月補正予算で
第三滑走路建設
に関するアンケートが
示されたが

A 全戸アンケート
についてだが、

契約事務手続きを経て
7月18日に委託業者と
契約を締結し、現在ア
ンケートの設問内容の
検討を進めていること
ろだ。

アンケート実施に当
たっては、町民の皆さ
んに対して「成田空港
の更なる機能強化」の
修正案の周知を図るこ
とが必要であるので、
できるだけ住民説明会
と並行して行いたいと
考えている。アンケー

Q 説明会の今後の
予定は

トの実施期間として3
週間程度、その後回収
されたアンケートの集
計及び分析に2ヶ月弱
が必要と見込んでいる。

A 6月12日に開催され
た「成田空港に関す
る四者協議会」において、
空港圏地域から提出されて
いた「夜間飛行制限緩和の
一部見直し」騒音区域設定
における集落分断の回避」

「航空機落下物対策」「空港
周辺の地域づくり」を内容
とする要望書への
対応案が示された。
町としては、町民
の皆さんに対応案
の内容を知ってい
ただくために、こ
の対応案がある程
度具体化された段
階で住民説明会
を開催する予定だ。
町民の皆さんの声

を広くお聞きしながら、住
民説明会後に町としてどの
ような対応をすべきなのか
を考えることになると思う。
なお、住民説明会の持ち方
については、今回の説明で
は国・県からいわゆる騒防
法、騒特法の区域設定（線
引き）などが示されること



になり、地域ごとに説明内
容が異なることがあるので、
そのようなことを考慮しな
がら、丁寧かつ効率的に説
明を行うよう検討してい
る。次に、カーフェリーに
関する所見だが、森川議員
からご指摘のあったとおり、
昨年から今年にかけて
行われた町
内での説明
会のみなら
ず、各市町
での説明会
でも、夜間
飛行制限
緩和案につ
いて厳しい
意見が多か
つたと聞いて

いる。6月12日の四者協議
会では、成田空港の国際競
争力の確保と地域住民の生
活環境の保全の両立を図る
との観点から見直し案が示
された。夜間飛行制限緩和
は、言うまでもなく騒音地
域住民の日々の生活に直結
する事柄であるので、提案

また、職員の安全運転意
識の向上と交通事故等にお
ける責任の明確化、並びに
犯罪防止と子供や高齢者の
見守りのため、全公用車に
ドライブレコーダーを設置
するための経費を、補正予
算に計上し今議会に提案さ
せていただいた。

者側である成田国際空港株
式会社及び国土交通省は騒
音地域住民の声に耳を傾け
ることが必要であり、双方
向での対話を続けることで
理解を求めていくべき問題
であると考えている。

Q 公用車の車両・運行
管理はどのようなも
のか

A 共用自動車は、庁内
イントラネットの公
用車予約に利用者、用途、
使用時間を記入し、車両予
約することで利用管理して
いる。その他の専用自動車
については、所管課におい
て利用者、使用時間等を管
理簿等において利用管理し
ている。

また、職員の安全運転意
識の向上と交通事故等にお
ける責任の明確化、並びに
犯罪防止と子供や高齢者の
見守りのため、全公用車に
ドライブレコーダーを設置
するための経費を、補正予
算に計上し今議会に提案さ
せていただいた。

また、職員の安全運転意
識の向上と交通事故等にお
ける責任の明確化、並びに
犯罪防止と子供や高齢者の
見守りのため、全公用車に
ドライブレコーダーを設置
するための経費を、補正予
算に計上し今議会に提案さ
せていただいた。

国連核兵器禁止条約の 受け止め方は

政府の動向を見守る

Q

7月7日、国連核兵器禁止条約が122カ国の賛成で採択された。

この条約は核兵器に関するすべての活動を全面的に禁止している。日本政府には1日も早い条約批准が求められますが、「国連核兵器禁止条約」をどう受け止めたのか。原水爆禁止世界大会国際会議では「核兵器禁止条約採択を心から歓迎する」と宣言している。町長は核兵器のない世界を求める世界平和首長会議に参加されましたが、何を感じてきたのか伺います。

A

核兵器禁止条約は、核兵器の使用、開発、

実験、製造、取得、保有、移転などを幅広く禁止した上で、核使用をちたつさせる脅しの禁止も盛り込まれ、核兵器の使用や実験の影響を受けた人々に医療などの援助を提供することも謳われています。核の脅威は感じられるものの、当該条約は国際レベルの話であり政府の動向を見守りたいと考えます。山武郡市町長会の行政視察で、初めて長崎市平和記念式典に出席させていただきました。戦争の悲劇や惨禍を二度と繰り返してはならないこと、日本の平和のありがたさを強く実感したところです。

Q

成田空港機能強化に関わる町民アンケートは、町民にどのような意見を見問うのか。飛行時間の延長は「確認書」の合意に反することになり、受け入れられないと考えるが。

A

アンケートの設問内容について、鋭意検討を重ねています。具体的には、騒音を含め成田空港が存在することに対する認識、機能強化案に対する認識、今後の町と成田空港との関係性、町の将来のあるべき姿などについて問うてみたいと考えているところです。

現行の運航可能時間6時



山崎 義貞 議員

Q

学校適正配置に係る町民アンケート調査

報告書をどのように見て考

えるのか。教職員の労働時間の実態は

A

アンケート結果から中学校については当面、現状維持が適当であると考え、小学校については適正配置を行う必要があると考えています。

昨年の9月から10月まで町内の教職員の勤務状況調査を実施し、1日あたりの超過勤務の平均時間は小学校で2時間48分、中学校で3時間3分であることが判明しました。町教育委員会では部活動ガイドラインを作成し、各校に適正な運用が行われるようお願いしているところです。

